

平成28年度

小学校 授業研究

国語科学習指導案

日時 平成28年6月27日(月) 第3校時

対象 1年3組 32名(男子13名 女子19名)

担任

1 平成28年度 共通テーマ

「創造的に思考する子どもの育成」

～自らの考えをもち、わかりやすく伝える力を育てよう～

2 平成28年度 国語科研究テーマ

「自分の考えをわかりやすく伝える児童の育成～発問の工夫を通して～」

3 個人研究テーマ

「思考の見えるノート指導」

4 おおきなかぶ

5 単元の目標

●場面の様子を想像しながら、物語の展開を楽しんで読み、好きなところを音読することができる。

◇役割を決めたり簡単な動作を取り入れたりして音読し、物語を演じる。

学習指導要領との関連: C1)アウガ2)イ A1)ウ 伝国1)イ(キ)

6 指導観

本単元では、場面の様子や人物について想像しながら物語を読む力をつけることをねらいとする。児童の実態としては、昼食時の読み聞かせや、図書室での本の貸し借りを楽しみにしている児童が多く、読み物への興味関心が高い。場面の様子を想像しながらお話をとらえる力もついてきている。本単元の学習で、叙述をもとに場面の様子を想像する力を高めていきたい。

「おおきなかぶ」は繰り返しの言葉やリズム感のある文章が特徴的で、次々に人物が登場してくるおもしろさもある。人物が増えることで場面が展開していくので児童にも場面の様子がとらえやすい。また、「うんとこしょ、どっこいしょ。」の会話や「〇〇が△△をひっぱって」「かぶはぬけません」などの繰り返し表現はリズムよく読めるので音読の楽しさを実感することができる。今回はグループに分かれ、場面ごとの音読劇を行い、学習のまとめとしたいと考えている。

また、今年はワークシートに頼らず、学習内容をノートにしっかりと書くことを大切

にしている。国語も算数も2冊目のノートを使用する程、子どもたちは書くことができるようになってきた。1時間の授業の中で、何を考えさせ、何を書かせるかについても研究したいと考えている。

7 年間指導計画における位置付け

あめですよ(言葉のリズムを感じながら読む)

とんこととん(お話を楽しんで読む)

※おおきなかぶ(場面の様子を想像しながら読む)

サラダでげんき(人物と人物の行動に注意して読む)

スイミー(物語の好きなところを選び、声に出して読む)

8 単元(教材)の指導計画と評価計画(7時間扱い)

		学習内容・学習活動	評価規準(評価方法)
第1次	1時	全文通読する。	【関】・物語に興味を持ち、場面の展開を楽しんで読もうとしている。
	2時	場面分け・構成を確認する。	【読】・語のまとまりや繰り返しの表現に気をつけながら音読している。C1)ア
第2次	1時	かぶが抜けなかったおじいさんの気持ちを考える。(本時)	【読】・かぶを植えた時の様子と大きく生長したかぶが抜けないときの気持ちを想像して読んでいる。C1)ウ
	2時	かぶが抜けたおじいさんの気持ちを考える	【読】◎次々に人物が加わる様子や、かぶが抜けたときの気持ちを想像して読んでいる。C1)ウ
第3次	1時	漢字・語句・文型の指導	【言】・敬体で書かれた文章に読み慣れている。伝国1)イ(キ)
第4次	1・2時	音読劇をしよう。	【話聞】・声の大きさや速さなどに注意して、はっきりした発音で音読している。A1)ウ
(音楽)		「おおきなかぶ」の歌を歌おう	

9 共通テーマとの関連

自らの考えをもち、わかりやすく伝えられるように、授業の中で下記の活動を入れる。

- ・叙述に基づいて考えられるように、大切な場所は視写し、根拠となる文に線を引かせる。
- ・おじいさんの気持ちをノートに文を書かせる。
- ・隣の人に自分の考えを伝え合う。(ペア対話)

10 本時（全7時間中の第3時間目）

(1) 本時の目標

かぶが抜けなかったおじいさんの気持ちを考える。

(2) 本時の展開

時間	学 習 活 動	指導上の留意点・配慮事項	学習活動に即した具体的な評価規準（評価方法）
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> ・全文通読。 ・前時の復習 	<ul style="list-style-type: none"> ・指名読み（8人） ・大きなかぶをひっぱった人動物を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・語のまとまりや繰り返しの表現に気をつけながら音読している。（補助簿）
展開 30分	<ul style="list-style-type: none"> ・かぶが大きくなるまでの場所を視写する。 ・書いたところをみんなで読む。（黙読・音読） ・3場面を黙読し、音読する。 ・3場面を2つに分ける。 ・たねをまこうとした時はどなたたねだったか。 ・どんなかぶになったか。 ・おじいさんはかぶが抜けると思っていたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師がノートに書くところを音読する。 ・1, 2場面を児童と一緒に板書する。 ・斉読の際は、ノートは閉じさせる。 ・3場面を教師のみ板書する。 ・かぶの事、おじいさんの事が書いてあることをおさえる。 ・線を引かせる。 ・「けれども」に注目させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かぶを植えた時の様子と大きく生長したかぶが抜けないときの気持ちを想像して読めたか。（ノート）
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・1～3場面を音読する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指音読させる。 	

(3) 授業観察の視点

自分の考えを持つことができる発問の工夫ができたか。